

スパークス・M&S・ジャパン・ファンド（愛称：華咲く中小型） 安定的な高いリターンが長期のパフォーマンスにつながる

▶ 安定的にリターンを積み上げることで長期的に高いパフォーマンスを発揮

当ファンドは高い成長が期待できるにも関わらず何らかの理由で市場から見過ごされている銘柄への投資を行うことで、長期的に高いパフォーマンスを発揮し、9月29日には分配金再投資基準価額が設定来最高値の32,476円となりました。

コロナショック以降、株式市場では一部の銘柄が相場をけん引する状況が続いていましたが、当ファンドでは、大きく上昇しているIT関連銘柄以外にも成長の機会があると考えています。引き続き長期的なパフォーマンスを獲得できるよう、特定の業種に偏ることなく幅広い銘柄の中から新たな投資機会の発掘に努めてまいります。

当ファンドの基準価額の推移 (2007年1月30日～2020年10月末)

当ファンド設定来最高値
(9月29日、
分配金再投資基準価額)
32,476円



当ファンドとベンチマークのリスク/リターン (2020年10月末現在)

	当ファンド	ベンチマーク	差異
年率リターン	8.3%	2.4%	6.0%
年率リスク	20.4%	21.1%	-0.7%

長期的にベンチマークよりも
高パフォーマンスを発揮

- ※ 基準価額は信託報酬控除後です。
- ※ 分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。
- ※ 当ファンドのベンチマークは、ラッセル/ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数（配当込み）ですが、当ファンドはベンチマークに連動するものではありません。当ファンドのベンチマークについては、P4をご確認ください。
- ※ 年率リターンは計算期間における年率（1年換算）の収益率、年率リスクは計算期間における年率リターン（1年換算）の変動度合いを示しています。
- ※ 決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金（税控除前）を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。
- ※ 過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

出所： スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc.（2020年10月30日現在）

■ 当資料はお客様向け資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■ 当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■ 投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■ 投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■ 当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■ 当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■ 当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■ 当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■ 当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

▶ 一部の業種に偏らない上昇銘柄

当ファンドの直近3か月（2020年8月～2020年10月）の寄与度上位銘柄を見ると、様々な業種の銘柄が当ファンドのパフォーマンスに貢献していることがお分かりいただけます。

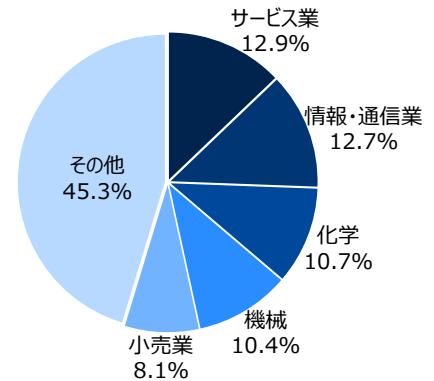
当ファンドでは、短期的なトレンドに追従することなくボトムアップリサーチにより選び抜いた銘柄に投資を行うことで、一部の業種に偏ることなく様々な業種の銘柄に投資、パフォーマンスに貢献しています。

当ファンドの寄与度上位5銘柄 (2020年8月～2020年10月)

※全銘柄で+11.37%中

順位	コード	企業名	業種	寄与度
1	7990	グローブライド	その他製品	1.16%
2	9697	カブコン	情報・通信業	1.15%
3	7613	シークス	卸売業	1.09%
4	9069	センコーグループホールディングス	陸運業	0.72%
5		小売業銘柄	小売業	0.67%

業種別保有比率 (2020年10月末)



短期的なトレンドに追従することなく、選び抜いた銘柄に投資を行うことで
様々な業種の銘柄がパフォーマンスに貢献！

▶ 当ファンドのパフォーマンスに貢献した銘柄：グローブライド（7990）

概要

- 釣りやゴルフ、テニスなどのスポーツ・レジャー用品の製造、販売を行う。
- 釣り具のグローバルブランドである「ダイワ」は日本でトップクラスのシェアを誇る。

ポイント

- 米州や中国など海外で同社の高品質な釣り具が認知されることで、同社製品のシェア拡大を期待。
- 好調な決算を発表し、株価が上昇。

株価の推移



※ 上記はご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。また、過去の実績等は将来の結果をお約束するものではありません。
 ※ 比率はマザーファンド（スパークス・日本中小型株・マザーファンド）の純資産総額に対する当該資産の時価の比率を表示しています。
 ※ 寄与度は、当該期間中の基準価額の変動において、各銘柄の変動がどれだけ影響したかを示したものです。各銘柄の月次の保有比率および株価を基に計算した概算値であり、実際の取引価格や当ファンドが負担するコスト（売買手数料など）は考慮されておりません。また、これまで当資料でご紹介していない保有比率下位銘柄については、銘柄名を非開示しております。

出所： スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc.（2020年10月30日現在）

■当資料はお客様向け資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

主な投資リスク

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資等を通じて、株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。なお、ファンドが有する主なリスクは、以下の通りです。

株価変動リスク

一般に株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況、国内および国際的な政治・経済情勢等に応じて変動します。従って、当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

中小型株式等への投資リスク

当ファンドは、中小型株式等へも投資します。こうした株式は、比較的新興であり、発行済株式時価総額が小さく、売買の少ない流動性の低い株式が少なくありません。その結果、こうした株式への投資はボラティリティ（価格変動率）が比較的高く、また流動性の高い株式に比べ、市況によっては大幅な安値で売却を余儀なくされる可能性があることから、より大きなリスクを伴います。

信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。

その他の留意事項

●システムリスク・市場リスクなどに関する事項

証券市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事などの諸事情により閉鎖されることがあります。このような場合、一時的に換金等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスクなどもあります。

※ 基準価額の変動要因（投資リスク）は、上記に限定されるものではありません。

その他留意点

- ・ 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・ 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

リスクの管理体制

委託会社では、投資リスクを適切に管理するため、運用部門ではファンドの特性に沿ったリスク範囲内で運用を行うよう留意しています。また、運用部門から独立した管理担当部門によりモニタリング等のリスク管理を行っています。

当ファンドに係る費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入申込受付日の基準価額に3.3%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。※詳しくは販売会社までお問い合わせください。
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に対して0.3%の率を乗じて得た額をご負担いただきます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 （信託報酬）	日々の信託財産の純資産総額に対して年率2.057%（税抜1.87%）を乗じて得た額とします。 〔委託会社1.21%（税抜1.10%）、販売会社0.77%（税抜0.70%）、受託会社0.077%（税抜0.07%）〕 運用管理費用（信託報酬）は、ファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。
	監査費用 印刷費用	監査費用、印刷費用などの諸費用は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。 ※監査費用：ファンドの監査人に対する報酬および費用 印刷費用：有価証券届出書、目論見書、運用報告書の作成、印刷および提出等に係る費用
随時	その他費用・ 手数料	組入る有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、その都度信託財産から支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 ※組入る有価証券の売買委託手数料：有価証券の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 ※信託事務の諸費用：投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息

※当該手数料等の合計額については、ファンドの購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

● 当ファンドのベンチマークについて

ラッセル/ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数（配当込み）はRussell/Nomura日本株インデックスのサイズ別指数です。Russell/Nomura 日本株インデックスは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社及びRussell Investments に帰属します。なお、野村證券株式会社及びRussell Investments は、ラッセル/ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数（配当込み）の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社がラッセル/ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数（配当込み）を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

ファンドの関係法人について

- 委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号
 （加入協会）一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
 信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社
 委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき株式会社日本カストディ銀行に委託を行います。
- 販売会社 下記一覧参照
 ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

販売会社	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社S B I証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第52号	○	○	○	
おかやま信用金庫	登録金融機関 中国財務局長（登金）第19号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○		
極東証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第65号	○			○
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第624号	○	○		
十六T T証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第188号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号	○	○		○
西日本シティ T証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長（金商）第75号	○			
株式会社福岡銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第7号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第649号	○	○	○	
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号	○		○	○